

可決された案件(要目)

◎全員賛成 △賛成多数

◎福生市議会議員及び福生市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例

公職選挙法の一部改正に伴い、市議会議員選挙において、選挙運動のために使用するビラを選挙管理委員会に届け出た2種類以内、4千枚まで頒布できるとされ、条例の定めるところによりビラの作成について無料にできるとされたことから、新たに公費負担の対象として規定するもの。

◎平成30年度福生市一般会計補正予算(第2号)

歳入では普通交付税額の確定による増額、歳出では保育所運営事業及びせせらぎ遊歩道公園整備事業の増額などで、歳入歳出予算の総額にそれぞれ8億6944万7千円を追加し、252億9795万4千円とするもの。

◎平成30年度福生市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

平成29年度決算に伴う繰越金並びに療養給付費等負担金等の精算等に当たり、歳入歳出予算の総額にそれぞれ4億155万6千円を追加し、72億8561万3千円とするもの。

◎平成30年度福生市介護

保険特別会計補正予算(第1号) 平成29年度の介護給付費等の確定に伴う介護保険料、国庫支出金、支払基金交付金、都支出金及び一般会計繰入金の精算に当たり、歳入歳出予算の総額にそれぞれ2億4027万2千円を追加し、44億3565万2千円とするもの。

◎平成30年度福生市下水道事業会計補正予算(第1号)

平成29年度決算に基づく繰越金の追加及びその繰越金の一部を支障施設等移設補償料に充当し、残りの繰越金は下水道事業基金へ積み立てるもので、歳入歳出予算の総額にそれぞれ1億5353万9千円を追加し、15億5977万6千円とするもの。

▽平成29年度福生市一般会計決算認定について

予算現額は、当初予算に補正6回と繰越明許費を加え、歳入歳出268億9542万7千円。歳入決算は265億9397万1629円で収入率98・9%、前年度比0・4%減。歳出決算は260億5746万8893円で執行率96・9%、前年度比1・9%増。歳入歳出差引残額は5億36

50万2736円。▽平成29年度福生市国民健康保険特別会計決算認定について 予算現額は、当初予算に補正1回を行い、84億8681万1千円。歳入決算は82億2221万9677円で収入率96・9%、前年度比0・4%減。歳出決算は78億93万3211円で執行率91・9%、前年度比0・4%増。歳入歳出差引残額は4億2128万6466円。

◎平成29年度福生市下水道事業会計決算認定について 予算現額は、当初予算に補正2回を行い、18億2564万1千円。歳入決算は16億1600万2932円で収入率88・5%、前年度比6・4%減。歳出決算は13億1865万3896円で執行率72・2%、前年度比13・8%減。歳入歳出差引残額は2億9734万9036円。

◎市道路線の廃止及び認定について(一括議題) 当該路線は牛二公園の南側に位置し、市道第1006号線に接続する行きどまりの市道。このほ

◎平成29年度福生市後期高齢者医療特別会計決算認定について 予算現額は、当初予算に補正1回を行い、11億4070万2千円。歳入決算は11億3906万8747円で収入率99・9%、前年度比0・2%増。歳出決算は11億2712万1918円で執行率98・8%、前年度比0・7%増。歳入歳出差引残額は1194万6829

◎市道第1009号線の北側に接続する私道の所有者から寄附の申し出があったことにより、当該路線が通り抜けの市道となり、周辺市民の利便性等の向上に資するものであることから、当該私道部分を含めて市道として一体管理しようとするもので、道路法の規定に基づき、行き止まりの道路から通り抜けの道路へと道路の性格が変わることから、当該路線を一旦廃止して、新たに私道部分を含めた路線として再度認定するもの。

◎福生市固定資産評価審査委員会委員の選任について 佐藤正明氏の任期満了に伴い、引き続き委員として再任することに同意するもの。

陳情

結論の付いた陳情は次のとおりです。

◆不採択 ○学校給食費の無償化を求める陳情書(30、2号)

(不採択理由) 本市では様々な教育施策や児童・生徒の保護者負担軽減措置を既に図っており、学校給食費の無償化には継続的な財源の確保が必要であるため、意に沿い

討論

●平成29年度福生市一般会計決算認定について

反対 オスプレイの飛来等を回避する対策については、成果で見れば不十分であり、更に、学校給食費の無償化や公会計化の取り組みもされていない。

賛成 本決算審査で注目すべきことは歳出決算額が過去最高の260億円を超えたことである。

そのほか次の議案に対しても賛成・反対の討論がありました。

●平成29年度福生市国民健康保険特別会計決算認定について 福生市では、堅実な財政運営が図られ、将来に負担を残さない運営方針が維持されており、更に、地方公会計制度導入2年目にあたり、PDCAサイクルがより深化したものと評価する。 防災食育センターの完成や子育て施策の充実、また、教育行政では、特別支援教育の体制を確立し、他の自治体を牽引するものであり評価する。 以上のことから、本決算に賛成する。

まちの魅力づくり対策特別委員会第一回調査結果報告(概要)

まちの魅力づくり対策特別委員会では、新たな観光資源の創出として、富士見通りについて協議し、福生駅から国道16号線までをつなぐ富士見通りが、今後、福生市の新たなシンボルとなるエリアとなり、魅力あふれ安全で安心な通りとなることを期待し、次のことを富士見通り地区地区計画に盛り込むこと及びそのように推進することを提言する。

『富士見通りについて』に関する提言

- 【提言1】福生駅から国道16号線までのつながり 既に観光資源として確立している国道16号線沿いのベースサイドストリートとのつながりを意識したアメリカな街並みの形成の推進を提言する。
- 【提言2】統一的な意匠 意匠については、店舗、看板、歩道、ガードレール、街路樹など、個別で考えて計画するのではなく、全体的な統一感を意識し演出することで、魅力的な街並みの形成を図ることを提言する。
- 【提言3】安心して買い物及び飲食ができる通り これから建築される建物の1階については、可能な限り店舗として活用されることを推奨し、できるだけ多くの人々が利用可能であるようユニバーサルデザインの理念を踏まえ、バリアフリー化することを提言する。
- 【提言4】撮影で使いたくなるような魅力的な街並みの形成 撮影で使いたくなるような魅力的なエリアとなるよう、統一のとれた景観の創造を提言する。
- 【提言5】魅力的な看板の設置 エリア内の看板については、英語表記を中心とした看板とすることを提言する。
- 【提言6】特色のある街路樹 街路樹については、アメリカな街並みに馴染むものとするを提言する。
- 【提言7】やさしいまちづくり 富士見通り沿道については、安心及び快適に買い物等ができるよう景観に合ったベンチ等を設置することを提言する。